

投 稿 規 定

1. 本誌の掲載論文はリンパ学に貢献しうる独創的な論文で未発表の日本文または英文とする。英文原稿は当該外国人による校正を受けてあることが望ましい。
2. 著者および共著者とも本学会会員であることを要する。
3. 原稿は2名の校閲者の査読を経て、掲載の適否は編集委員会で決定される。
4. 原稿の種類は総説、解説、原著、短報、症例報告、その他編集委員会で掲載を承認されたものとする。
5. 原稿はコンピューターソフトまたはワードプロセッサーを用いて、A4縦置き用紙に横書きとし、上下左右のいすれにも30mm以上の余白を設ける。日本文は23字×45行=1,035字詰めとし、英文の場合12ポイント、ダブルスペースで、記入欄の大きさもこれに準ずる。日本文の場合、原稿2枚が刷り上がり1ページに相当する。
6. 原稿の構成は表紙、英文要旨、本文、参考文献、図表説明一覧、図表とする。表紙を第1ページとしてページ番号を付す。
 - (1) 表紙には原稿の種類、標題、著者および共著者名、所属機関と部局およびその所在地（郵便番号を含む）の全てについて、日本文および英文で記す。
 - (2) 英文要旨は200語前後で、同一ページの末尾に5語以内の英語のKey wordsをつける。
 - (3) 原著論文の本文は緒言、材料と方法、所見、考察、謝辞の項目順に記載する（各項目名は必ずしもこれに一致しなくともよい）。研究費の補助、助成については謝辞の項目に記載する。総説、解説、短報では項目分けの必要はない。
 - (4) 日本文の文章は当用漢字で新かなづかいとし、学術用語は関連学会で定めたものを用いる。外国語の原語は欧文活字体を用い、日本語化したものはカタカナを用いてもよい。
 - (5) 数字はアラビア数字を用い、度量衡の単位を表す記号はJIS制定のものを用い、必要に応じて本文末尾に記号一覧をつける。
 - (6) 参考文献は本文中での引用順に配列して一連番号を付して一覧とする。本文中では引用個所の右肩にこの番号を¹⁾のように記す。参考文献一覧は次の形式で記載する。

A. 雑誌の場合

番号)著者名(2名までとし3名以上は、ほか、またはet alとする):標題、雑誌名、巻(号):始ページ-終ページ、発行年。

(例)

- 1) Shimoda H, Kudoh T et al: Enzyme-histochemical demonstration of lym-phatic network in the rat small intestinal wall. Japanese Journal of Lymphology, 19(2): 65-71, 1996. (in Japanese with English abstract).

- 2) 下田 浩、工藤哲治ほか: ラット小腸壁内リンパ管の構築に関する酵素組織化学的検討。リンパ学, 19(2):65-71, 1996.

B. 単行本の場合

番号)著者名(2名までとし3名以上は、ほか、またはet alとする):標題、書名、出版社名、所在地、発行年、引用始ページ-終ページ。

番号)著者名(2名までとし3名以上は、ほか、またはet alとする):標題、書名、編集者名(1名とし2名以上は、ほか、またはet alとする)、出版社名、所在地、発行年、引用始ページ-終ページ。

(例)

- 3) Magari S: The spinal cord and the lymphatic system. in Lymphangiology. edited by Foldi M et al, F.K. Schattauer Verlag, Stuttgart, 1983, pp509-533.

- 4) 大谷 修、王 全新ほか: リンパ管の形態と機能。リンパ管-形態・機能・発生、大谷 修ほか編、西村書店、新潟市、1997, pp1-9.

- (7) 図表およびその説明は全て英文とする。印刷時の説明文は原則として各図表ごとに付す。

- (8) 図表は原寸印刷が可能な状態のもので、写真是厚紙の台紙に張りつけ、配置を指示する。図表の挿入個所は本文中に赤字で指定する。図表の大きさは印刷時に説明文を含んで1ページに収まる大きさとする。図表のみの最大寸法は200mm(タテ)×150mm(ヨコ)である。

7. 校正は初校のみ著者校正とする。その際、編集委員会の指示があればこれに従う。

8. 印刷代は無料とし、カラー印刷、トレース、別刷等は著者負担とする。
9. 投稿原稿は3部一組（正：1部、副：2部）で、郵便書留もしくは宅配便等の、事故があった場合に送付経過を追跡調査し得る方法により右記に送付する。
10. 電子メールでの投稿は、原稿を右記電子メール宛に送付する。
11. 利益相反関係の有無を本文の最後に明記する。
12. 本誌に掲載された論文の著作権は日本リンパ学会に帰属する。
13. 本誌に掲載された論文の機関リポジトリへの

利用は、原則として掲載後1年を経過した論文について、筆頭あるいは責任著者の申し出により編集委員会が検討するものとする。

送付先

〒113-8549

東京都文京区湯島1-5-45

東京科学大学 医歯学総合研究科 病態生化学分野内
日本リンパ学会 事務局

電話：03-5803-0187

FAX：03-5803-0187

e-mail : japanesesocietyoflymphology@gmail.com

編集委員：大橋 俊夫 信州大学
メイカル・ヘルスイノベーション講座
片貝 智哉 新潟大学 免疫・医動物学
河合 佳子 東北医科薬科大学 生理学
北川 雄光 慶應義塾大学 外科学
北村 薫 AM CLINIC
清野 宏 千葉大学
未来医療教育研究機構
光嶋 獄 広島大学
国際リンパ浮腫センター

下田 浩 弘前大学 生体構造医科学
竹内 裕也 浜松医科大学 外科学
平島 正則 新潟大学 薬理学
穂苅 量太 防衛医科大学校 消化器内科
馬嶋 正隆 神奈川工科大学健康医療科学部
三浦 総一郎 国際医療福祉大学大学院
宮坂 昌之 大阪大学
免疫学フロンティア研究センター
渡部 徹郎 東京科学大学 病態生化学分野
(五十音順)